



地域医療連携ニュース

No.8

東京都清瀬市竹丘3-1-1

TEL 042-491-2111(代) FAX 042-494-2168
(連携室) TEL 042-491-2934 FAX 042-491-2125

<http://www.hosp.go.jp/~tokyo>



連携医としてお世話になっております。おざき内科循環器科クリニック（東久留米市）院長の尾崎治夫です。

来年で当院も開業20年を迎えますが、開業当時感じた東京病院の印象は、結核療養所を前身とする国立病院であり、結核や肺がんなど肺疾患を中心に扱う専門性の高い病院として、どちらかと言うと地域医療の一端を担う私どもには、敷居の高い病院でした。

時が移り現在では、国立病院の機構が変わった事もあります。身近に感じられる存在となり、また北多摩北部医療圏の地域医療連携を考える上でも、重要な病院の一つになりつつあります。

現院長の中島先生や副院長の茅野先生を中心に、病院スタッフの皆さんが、地域での病診連携の充実に、こつこつとご尽力されてきた事が、徐々に実を結んできた賜物といえるでしょう。

呼吸器科、循環器科、消化器科の昼間・夜間・祝日等の緊急を要する疾患の受け入れも含んだ診療体制の充実や、パソコンより外来・検査予約が可能なカルナシステムの導入、MRIやCT等の検査予約から結果報告までの体制の充実（特に単純CTであれば、予約なしに当日に撮って頂ける事や、土日でも検査が受けられる事は、患者さんにも大変好評で、東京病院の存在を多くの地域住民に知ってもらい良い機会にもなっていると思います。）などを通じて、多くの連携医の先生方と同様、当院でも東京病院にお世話になる機会が年々増えてきております。

また最近では循環器科の先生方から、東京病院に通院されていた患者さんの中で、病状の安定した患者さんを紹介頂くケースも増えてきました。地域医療の中で当院がある程度評価されているものと有り難く感じると共に、ご厚意に答えるべく、さらに精進して診療に励まねばとの意を強くしております。

今後も地域医療連携の更なる充実に向け、病院スタッフの皆様の一層のご尽力をお願いするとともに、私ども診療所の医師も、いろいろと意見交換をしながら、変わりつつある東京病院にエールを送り続けていきたいと思っております。

おざき内科循環器科クリニック
尾崎 治夫

東京病院緩和ケアについて

緩和ケア病棟として開設以来14年目を迎えました。当病棟は病院内の敷地に別棟としてあり、ゆたりの空間と緑に囲まれ、武蔵野の趣きをいっぱいにあじわえる場所に設置されています。

*入院について

大部待たされるという印象があるようですが、空き状況によってはあまりお待ちにならずに入院できる場合もありますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ先 TEL 042-491-2111(代) より緩和ケア病棟へ ※平日8時30分～17時15分

*病棟について

私たちは日常性の維持をケアの大切な目標と考え、患者・家族を支え良い環境を提供し、家庭的雰囲気醸しながら苦痛を緩和し、思いやりを届ける努力を続けています。

緩和ケア病棟は病院の敷地内にありますが、本館とは少し離れた1階にあります。病室は全て個室になっております。全てのお部屋から庭の景色を見ることができ、緑と土の香りや四季折々の変化を楽しむことができます。また、毎月1回音楽ボランティアの方が行うミニコンサートや、病棟スタッフが企画する季節の行事を取り入れた手作りのレクリエーションを行っています。

このレクリエーションは、患者さま同士のコミュニケーションの場となったり、少しでもつらい時間を忘れていただいたり、また季節を感じていただくことなどを目的としております。



1病棟の外観。奥にあるのが本館



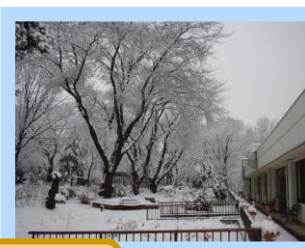
お花見



夏祭り・盆踊り



病室の窓から見える風景



運動会・玉入れ

そこで、最近行ったレクリエーションをご紹介します。

8月は「夏祭り」を行いました。東京病院職員OBが盆踊りを踊り、看護師も浴衣を着ていつもと違う雰囲気で参加しました。患者さまも一緒に手を動かし踊りに参加したり、ご家族の方が踊りの輪に入りその姿を嬉しそうに眺めている様子などが見られました。スイカ割り、綿あめやヨーヨー釣りなども出店し、昔を懐かしく思う患者さまもいました。

10月は「秋の運動会」を開催いたしました。患者さま、スタッフを2チームに分け、玉入れ・パン食い競争・綱引きなどを行いました。看護師による応援団も加わり大盛況でした。

これらのレクリエーションは患者さまに楽しんでいただくことを目的としておりますが、病棟スタッフも一緒に楽しいひと時を共有させていただいております。是非見学にいらしてください。



運動会・応援団

緩和ケア病棟 病棟医長：三上明彦、看護師長：皆川優子

東京病院の呼吸器内科について

内科医長

田村 厚久



呼吸器内科は、国立療養所の時代から今日まで当院診療の中心であり続けてきました。

現在の当科は常勤医 18 名 + 後期研修医等 12 名から成る大所帯で、6 個病棟（一般呼吸器 4 個病棟と結核 2 個病棟）、300 病床での診療を行っています。診療対象もかつての結核中心から肺癌や慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎など、あらゆる呼吸器疾患へと広がっていますが、その全ての分野において専門家や指導医がおり、充実した診療体制を敷いています。

検査についてもこの 1 年間の気管支鏡（処置除く）809 例、胸水精査のための局麻下胸腔鏡 60 例、喀血への気管支動脈造影・塞栓術 28 例など、いずれも呼吸器内科として国内有数の症例数を経験しています。また当科は地域医療連携にも真摯に取り組んでおり、呼吸器疾患による緊急入院時の人工呼吸導入数もこの 1 年で 88 例を数えました。

総合病院でないが故の診療上の制限もありますが（逆にそれ故、呼吸器疾患センター的な機能を発揮できるだけの capacity があるのですが）、今後とも呼吸器疾患の症例につきまして、よろしくご紹介ご連絡賜りますようお願い申し上げます。

<参考> 過去 1 年間の疾患別延べ入院数 best 10（呼吸器内科）

| | | | |
|---------------|----------|------------|-------|
| ①原発性肺癌 | 1, 167 例 | ⑥間質性肺炎 | 176 例 |
| ②肺結核症 | 418 例 | ⑦他のびまん性肺疾患 | 99 例 |
| ③肺感染症（抗酸菌症以外） | 221 例 | ⑧呼吸不全・SAS | 90 例 |
| ④COPD および気道疾患 | 195 例 | ⑨アレルギー性肺疾患 | 73 例 |
| ⑤肺非結核性抗酸菌症 | 193 例 | ⑩自然気胸 | 41 例 |

呼吸器内科 医師のご紹介



呼吸器科診療部長
赤川 志のぶ



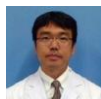
外来診療部長
永井 英明



内科医長
長山 直弘



呼吸器科医長
豊田 恵美子



呼吸器科医長
松井 弘稔



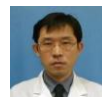
内科医長
山根 章



呼吸器科医長
益田 公彦



呼吸器科医長
寺本 信嗣



呼吸器科医師
大島 信治



呼吸器科医師
松井 芳憲



呼吸器科医師
有賀 晴之



内科医師
鈴木 純子



呼吸器科医師
島田 昌裕



内科医師
川島 正裕



内科医師
加志崎 史大



呼吸器科医師
鈴木 純一



呼吸器科医師
伊藤 三郎

肝疾患連携パスを始めました

消化器科・病棟診療部長 矢倉 道泰

消化器科では2009年11月1日から状態の安定した患者様を対象に肝疾患連携パスを始めました。それに先立ち10月に医師会の先生方を対象に3回に分けて当院で説明会を開きました。

○肝疾患連携パスとは

疾患連携パスはすでに骨そしょう症、糖尿病、脳卒中、大腿骨近位部骨折などで汎用されており、肝疾患連携パスを導入する病院も次第に増えつつあります。

肝疾患連携パスの利点は患者様が近医にかかれること、特に高齢者や多忙な人、強ミノを定期的に注射している人には通院が便利です。状態の安定した患者様が対象なのと4～6ヶ月に一度は当院の肝臓専門医が診察致しますので安心です。パスを見れば治療、肝臓の状態、検査の流れが一目でわかるなどが挙げられます。

○実際の運用については以下のとおりです。

- 1) 初診の患者様：当科で診断、治療方針を決定後、安定した時点で紹介医にお返しします。
- 2) 現在、当院に通院中の患者様：本人が希望された近医にご紹介いたします。

いずれも4～6か月に一度は当院を受診して頂きます。その間、主治医が肝疾患連携パスに check と当院でお渡しします肝臓手帳に肝機能を記入して頂き本人がそれを持って当院とかかりつけ医に受診することになります。なお肝疾患連携パスは東京病院ホームページ (<http://www.hosp.go.jp/~tokyo>) からダウンロードできます。

実際のかかりつけ医のお仕事は採血で肝機能の check のみになると思いますが、C、B型肝炎やその他の肝疾患でも肝硬変の場合はGOT、GPTが正常でも肝がんがでます。特に高齢者では発がんのリスクが高いため、腹部超音波は必ず行って下さい。

慢性肝炎は4か月に1回、肝硬変は3か月に1回お願い致します。超音波装置をおもちでない場合は当院で行いますのでパスにその旨をご記入くださるか患者様にお伝え下さい。また肝硬変の場合は食道静脈瘤の破裂がありますので1年に1回は胃カメラが必要です。その他、急な肝機能悪化や下肢浮腫、腹水が見られた場合も当院を受診させて下さい。

なお血液検査は少なくとも肝機能検査 (Alb, T. Bil, ALP, γ GTP, GOT, GPT, ZTT), CBC, AFP (慢性肝炎では4か月に1回、肝硬変では3か月に1回) の check をお願いいたします。

以上、宜しくお願い申し上げます。何かご質問がございましたらいつでもご連絡下さい。

地域医療連携医講演会のお知らせ

日時：平成22年2月23日(火) 午後7時30分より
場所：国立病院機構東京病院大会議室

一般講演「喀血・血痰について(仮)」
NHO東京病院 呼吸器科医師
川島 正裕 先生

特別講演「気管支喘息の最新の話(仮)」
NHO相模原病院長、日本アレルギー学会理事長
秋山 一男 先生

※申込方法につきましては後日ご連絡いたします。

外来診療担当医師表の改訂

この度、診療科毎の新しい外来診療担当医師表に改訂させていただくこととなりました。今回の連携ニュースに同封させていただきましたので、是非ご利用下さい。

なお、何かお気づきの点などがありましたら、ご遠慮なく連携室までご連絡下さい。

東京病院 地域医療連携ニュース 第8号 平成21年12月18日 発行

発行責任者 中島 由槻 編集責任者 茅野 眞男 庄司 俊輔